

2022年9月30日

SOMPO インスティテュート・プラス株式会社

## 「SOMPO Institute Plus Report」最新号の発刊

SOMPO インスティテュート・プラス株式会社（取締役社長：司波 卓、以下「当社」）は、この度「SOMPO Institute Plus Report」の最新号（Vol.81）を発刊しましたので、お知らせします。

### 1. 最新号のテーマ

- （1）国境を超えるデータ  
～グローバルとローカルのせめぎ合い～
- （2）ヘルスケア分野のパーソナルデータ活用の課題と対応  
～他分野の取り組みからヒントを探る～
- （3）企業価値に影響を与えはじめた自然資本  
～カーボンプレジットの活用と規制リスクへの備え～

### 2. 「SOMPO Institute Plus Report」とは

当社では、経済・財政・金融・社会保障政策、気候変動、まちづくり、モビリティ、ヘルスケア、働き方、ウェルビーイングおよび未来社会等に関する動向を中心に調査しています。本レポートは、1992年から発刊している当社の機関紙であり、調査分野に関する論文を掲載しています。現在は年2回（4月、10月）発刊しており、通巻81号となります。

### 3. その他

- ・ SOMPO Institute Plus Report の掲載論文（バックナンバーを含みます。）は、当社ホームページに掲載しています。
- ・ また、その他のレポート等についても掲載していますので、併せてご利用ください。  
（当社ホームページ） <https://www.sompo-ri.co.jp/publicity/issue-quarterly/>

以上

### お問い合わせ先

SOMPO インスティテュート・プラス株式会社  
〒160-8338 東京都新宿区西新宿 1-26-1 損保ジャパン本社ビル  
TEL:03(3349)5175 （当社ホームページ） <https://www.sompo-ri.co.jp/contact/>

【別紙】 SOMPO Institute Plus Report Vol. 81 概要

## (1) 国境を超えるデータ

～グローバルとローカルのせめぎ合い～

報道機関ではニュース発信事業・広告事業の両方の業務モデルと収益モデル（ビジネスモデル全般）において破壊（ディスラプション）が進んでいます。グーグルやフェイスブックに記事使用料を請求するという海外の動きは、わが国で報じられることが少ないものの、ディスラプション対応のひとつの試みです。この動きを中心に、各事業で生じたディスラプションの発生原因、報道機関の国別の対応状況、各国政府が支援する理由などを概観し、ディスラプションの初期に対応することの重要性を確認します。

## (2) ヘルスケア分野のパーソナルデータ活用の課題と対応

～他分野の取り組みからヒントを探る～

新型コロナウイルス感染症の流行を経て、ヘルスケア分野のパーソナルデータ活用の遅れが指摘されるケースが増えています。本レポートでは、パーソナルデータ活用における「プライバシー」「インセンティブ」「相互運用性」の課題に注目します。情報銀行、スマートメーター、銀行システムの API 接続、信用スコア等のヘルスケア以外の分野の取り組みから、ヘルスケア分野のパーソナルデータ活用に向けたヒントを探ります。

## (3) 企業価値に影響を与えはじめた自然資本

～カーボンクレジットの活用と規制リスクへの備え～

自然資本はこれまで十分に理解されてきませんでした。その喪失は社会全体に甚大な影響を及ぼす可能性が指摘されています。企業価値を考えるうえでも、自然資本の活用は価値創造の源泉でもあり、リスクにもなりうるため、自然資本を考慮する重要性が増してきています。社会から必要とされる企業として評価され、企業価値を高めていくためにも、まずは自社の自然資本との関わりを把握し、迅速な行動をとることが肝要といえます。

以上